

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	急性リンパ性白血病における骨髄有核細胞数の臨床的意義
	研究目的	急性リンパ性白血病における移植直前の骨髄有核細胞数と移植後経過の臨床的関連性を調べる研究です。
	研究対象者	2010年1月から2021年12月までの間に当センター血液内科にて初回の造血幹細胞移植の治療を受けた寛解期の急性リンパ性白血病患者さん。
	研究期間	西暦 2022年1月31日～西暦 2025年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	貫井淳
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし